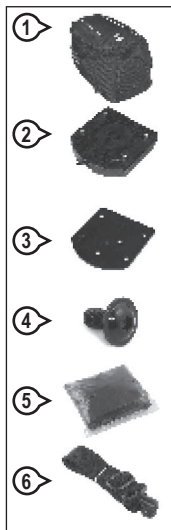


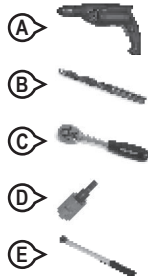
品名: タンクバックパック、大 品番: 99000-990D7-130  
 適用機種: DL1050RQ/RC M0-, DL650A L2- 取付時間: 15分

**構成部品**

| 番号 | 品名                          | 数量 |
|----|-----------------------------|----|
| 1. | タンクバックパック(11L - 15L)        | 1  |
| 2. | ロック機構                       | 1  |
| 3. | ドリルテンプレート                   | 1  |
| 4. | M5 x 10 ISO 7380ドームヘッドボルト、黒 | 4  |
| 5. | レインフード                      | 1  |
| 6. | ショルダストラップ                   | 1  |
| 7. | 取付/取扱説明書(画像なし)              | 1  |


**必要工具**

| 番号 | 品名                            |
|----|-------------------------------|
| A  | パワードリル                        |
| B  | ドリルビット 8.5 mm                 |
| C  | ショートエクステンション付き<br>リバーシブルラチェット |
| D  | ソケットISK 3 mm                  |
| E  | トルクレンチ                        |


**安全に関する表示**

説明書を読んで、注意深く指示に従ってください。  
 この取付説明書には、「▲警告、▲注意、▲注記、アドバイス」のシンボルマークを用いて表示してあります。法令でシンボルマークを別の意味で使用することが義務づけられている場合を除き、これらの特別な意味が適用されます。これらのシンボルマークにより強調して表現された内容は、以下のような意味を持ちますので特にしっかりお読みください。

**▲警告**

取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。

**▲注意**

取扱いを誤ると、傷害につながるおそれがある内容です。

**▲注記**

取扱いを誤ると、車両または機器の物的損害につながるおそれがある内容です。

アドバイス: 操作や保守点検を容易にしたり、重要な指示をさらに明確にするための特別な情報です。

**取付け**

1. タンクバックパック(1)のインナカバーを開けて、補強プレートから完全に取り外します(図Iの上部詳細図参照)。  
 図面Iと右上の詳細図のように、ドリルテンプレート(3)をタンクバックパックの凹部に当てます。

**▲注記**

ドリルテンプレートを図Iのように慎重に配置します。  
 次の手順でインナカバーが損傷しないように置いてください。

**▲警告**

穴開けは慎重に行ってください。怪我に注意してください。

- 8.5 mmのドリルビットを使用して、タンクバックパック(1)の外側から穴を4つ開けます。  
 図のようにドリルテンプレート(3)の4つの穴を通してドリルで穴を開けます。  
 反対側に木片をあてがって部材を支えます(図Iの下側詳細図を参照)。
2. ロック機構(2)をタンクバックパック(1)の下に取り付けます(図II)。  
**この手順では、ボルト(4)を3 N・mの規定トルクで締め付けます。**  
 タンクバックパックのインナカバーを閉じます。  
 図IIと右下の詳細図のように、ロック機構(2)のブルコードをタンクバックパック(1)のブルコードに取り付けます。
3. ロック機構を取り付けたタンクバックパック(1)を、取り付けしたタンクリング(99000-990D7-132)の上に降ろします(図III)。  
 タンクバックパック(1)をタンクリングにしっかり押し付けます。  
 カチツという音が鳴ったことを確認します。  
 タンクバックパック(1)がしっかり嵌っていることを確認します。  
 ブルコードを引いて、タンクバックパック(1)から外します(図IIIの詳細図を参照)。

**点検**

スズキ純正アクセサリを取り付けると、サービス/メンテナンスの予定時間が長くなる場合があります。サービス/メンテナンスを行うために、スズキ純正アクセサリの取外し/取付けが必要になる場合があります。

**▲注意**

車両の所有者は、常に取付説明書を所持している必要があります。

**▲注意**

振動でボルトが緩むことがありますので、締め付けトルクを定期的に点検してください。

## 安全

### ▲警告

タンクバックパックの最大積載重量は2.5 kgです。

付属の防水レインフードを使用して、荷物が濡れないようにします。  
また影響を受けやすい荷物(電子機器等)は、ビニール袋で覆って濡れないようにします。  
車両に付着した汚れには浸食作用があるため、塗装面などが損傷する場合があります。  
繊維製品は、長時間強い日光に曝されると色が薄れることがあります(漂白)。  
これに対して当社はいかなる賠償責任も負いません。  
バックパックに鋭利な物や先の尖った物を絶対に入れないでください。負傷や車両/製品の損傷の原因となります。

## 手入れ

ぬるい石鹼水ときれいな柔らかいウエスを使用してタンクバックパックを清掃します。  
ファスナの清掃には固形石鹼と柔らかいブラシを使用し、真水ですすぎます。  
強力な洗剤や目の粗い清掃器具は使用しないでください。  
ファスナの動きが悪くなったら、ベビーパウダを使用すると元の動きに戻ります。

## 機能

タンクバックパック(1)には次の機能があります:



細かい形状に合わせる



11 - 15Lの可変容量拡張機能付き



網目の仕切り付き



ケーブルを通す穴付き



ファスナ開閉式

